



熱研夏塾オンラインセミナーに参加しました！



7月10日（日）長崎大学熱帯医学研究所が主催するオンラインセミナー「感染症研究のキャリアパス」に、高1生徒5名、高3生徒4名が、視聴覚教室からオンラインで参加しました。

感染症研究で日本をリードする長崎大学、北海道大学、東京大学、大阪大学から5名の先生が登場し、研究内容の紹介や質疑応答が行われました。

大学・研究所	講演者	テーマ
北海道大学 人獣共通感染症 国際共同研究所	松野啓太 先生	「『動物のお医者さん』を読んで獣医を目指したらいつの間にかウイルスを研究していた件」
東京大学 医科学研究所	竹島功高 先生	「ヘルペスウイルス粒子の可視化」
大阪大学 微生物病研究所	小瀧将裕 先生	「ロタウイルスのつくり方」
長崎大学 高度感染症研究 センター	古山若呼 先生	「エボラウイルスの知られざる戦略」
長崎大学 熱帯医学研究所	宮崎真也 先生	「マラリア原虫がヒト・蚊に寄生する仕組みに魅せられて」

【参加者の感想】

- 普段接することがない高度な知識を得ることができて、学校の勉強とは違って楽しかった。進路の話だけでなく、将来大学で学ぶ上での留意事項も教えていただけてすごく興味深かった。
- 人の役に立つことを楽しみながら研究している先生たちの話を聞き、自分もそうなりたいと感じた。
- 一番印象に残ったのは、どなたも研究を面白い楽しいと思っていらっしまったことです。それがあるからこそ様々な専門性に到達されているのだと感じました。自分は興味があることには確固たるものがあるので、学力が足りないからという理由であきらめず、楽しさを感じながら追い求めたいです。
- 医学部だけでなく、獣医学部、薬学部、理学部、工学部などいろいろな理系学部から感染症に関する研究室に進むことができるということが印象的だった。自分が志望する学部でも多くの論文に触れるので、もう一度英語力を強化していきたいと思った。



